

第七期神楽坂建築塾

第七期修了制作・論文 概要書

氏名	川上祐司	テーマ	賃貸集合住宅のすすめ
目的	<p>将来の社会環境の変化を踏まえ、現在は積極的に捉えられていない賃貸集合住宅の利点を明らかとする。</p>		
方法	<p>論考による。</p>		
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好景気の長期化などにより、分譲住宅市場は活況である。</li> <li>・ 一方、日本の人口は減少に転じ、建物の寿命に相当する数十年のスパンで見ると数千万人の人口減少が見込まれている。</li> <li>・ 将来、分譲集合住宅が、社会のニーズに応え続けるには、相応の変化が必要である。</li> <li>・ しかし、多様で多くの所有者で共有される「分譲」では、適切な変化の実現は困難である。</li> <li>・ そこで、所有者がひとりであり、変化への対応力に優れた「賃貸」集合住宅を見直してみたい。</li> </ul>		